





# 資源管理・資源調査の強化

【平成29年度予算概算要求額：4,554百万円(4,057百万円)】

- 水産日本の復活のためには、充実した資源調査を基礎として適切な資源管理に継続的に取り組むことが不可欠。
- また、我が国周辺における外国漁船の急増への対応、クロマグロ資源管理に関する国際合意の遵守及び国際共同資源調査の実施など、国際的な資源管理に主体的に取り組む必要。
- このため、資源調査体制の強化、クロマグロの混獲回避に関する取組の支援、広域・重要資源に係る資源管理計画の作成に対する支援などを実施。

## 資源調査の強化

我が国周辺水産資源調査・評価推進事業(拡充)

【1,684(1,581)百万円】

- ・海洋環境の変化について効率的な観測の実施及びこれが水産資源に与える影響の調査を充実
- ・沿岸域の資源・海洋情報収集の強化



国際水産資源調査・評価推進事業(拡充)

【1,531(1,213)百万円】

- ・評価精度向上が急務のサンマ、クロマグロについて国際共同調査を新規実施、データ整備・解析を強化
- ・漁況不振のカツオ、さけ・ます類のデータ充実化

資源評価精度向上のための次世代型計量魚群探知機の開発事業(継続) 【33(36)百万円】

- ・低周波かつ広帯域の音波を用いて、魚群量だけでなく、魚種や魚体長も把握できる次世代型計量魚群探知機を開発。



- ・主要水産物の安定供給の確保
- ・水産資源の安定的かつ持続的な利用

## 資源管理の強化

広域資源管理強化推進事業(継続)【132(147)百万円】

- ・漁獲可能量(TAC)制度の的確な運用等
- ・個別割当(IQ)方式、TAC魚種追加に対応した漁獲情報システムの改修等

包括的な国際資源管理体制構築事業(拡充)【507(402)百万円】

- ・かつお・まぐろ類、サンマ等について、科学データ収集体制を強化
- ・まぐろ類に加えて新たにカツオの輸入の適正管理等を強化

資源管理高度化推進事業(拡充)【456(405)百万円】

- ・マサバ太平洋系群の個別割当(IQ)方式の効果実証
- ・資源管理計画の高度化に向けた評価・検証等
- ・広域資源・重要資源に係る計画作成の指導及び改良漁具の導入に係る実証調査等

太平洋クロマグロ漁獲抑制対策支援事業(新規)【30(-)百万円】

- ・特定の魚種を選択的に漁獲することが難しい定置網漁業における混獲回避のための漁具改良等を支援